

大方高校生ら「未来の仕事」について討論

1月25日(火)、大方高校1年生35名がゲスト11名とともに「未来の仕事について考える」をテーマに、少人数で自由に対話を行うワールドカフェ形式でディスカッションを行いました。

同授業は、「10年後の仕事について考える」という課題に取り組みためにさまざまな職業の方と議論を行い、多様な考え方と社会の現状などを学び、情報収集することを目的に行われました。

生徒らは「これからの社会に求められる能力は何か」、「10年後の仕事はどう変化すると考えているか」など、さまざまな質問をしながら情報収集をしていました。

授業に参加した同校1年生の山城ゆずさんは、「最初は緊張したが、なんとか自分の意見が言えた。コ



ディスカッションする生徒ら

ロナ禍で直接会うことはできなかつたが、リモートで協議ができて良かった」と話しました。

冬の野鳥観察会2022

NPO 砂浜美術館が主催する「冬の野鳥観察会2022」が2月5日(土)、12日(土)、19日(土)に開催されました。

同イベントは、砂浜、湿地、水田など、鳥や生き物が多く存在する自然豊かな砂浜美術館を地域の皆さんに直接見て感じてもらいたいという思いから、平成29年より開催され、今年で5年目を迎えました。

2月12日(土)の回では、高知野鳥の会の森富美男さんの案内のもと、参加者、関係者ら計18名が参加しました。ビオスおおがたから大方球場やキャンプ場周辺を回り、ハヤブサやモズなど、27種類の野鳥を見ることができました。

参加した清家太郎さんは、「野鳥が好きで参加した。自然豊かで素晴らしく、また、鳥の種類も豊富でとても楽しめた」と話しました。



野鳥を観察する参加者ら

鳥が好きで参加した。自然豊かで素晴らしく、また、鳥の種類も豊富でとても楽しめた」と話しました。

高知ユナイテッドSCキャンプ

1月23日(日)から1月29日(土)までの7日間、高知ユナイテッドSCが土佐西南大規模公園でキャンプを行いました。

1月23日(日)に行われた歓迎式典では、松本敏郎町長から「昨年の成績以上の活躍を期待している。充実したキャンプをしていただきたい」と歓迎の言葉が送られ、その後、文旦やイチゴなど記念品が贈られました。

同クラブに所属する黒潮町出身の井上聖也選手は、「二週間で身体・メンタルともに整え、今年のシーズンで良いスタートがきれられるように頑張りたい。今シーズンはゴールキーパーとして失点をしっかり抑えたい」と意気込みを話しました。

また、吉本岳史監督は、「サッカーをするのに最高の環境。これから町の皆さんに応援したいと思っていただけのようなチームにしたい」と話しました。



練習風景

これから町の皆さんに応援したいと思っていただけのようなチームにしたい」と話しました。

高知FRODO2022キャンプ

高知ファイティングドッグス(国アイランドリーグP.L.U.S.所属)が2月6日(日)から9日(水)まで、大方球場を拠点に2022キャンプを行いました。

キャンプには、選手29名とチーム関係者らが参加。6日(日)には、松本敏郎町長など関係者らによる歓迎式典が行われました。

同チームは、昨年後期の公式戦で一位の成績を収めており、サンフォ・ラシイナキャプテンは「黒潮町のキャンプでは、しんどい練習のあとの美味しいご飯が楽しみ。今シーズンは、前期・後期ともに優勝したい」と話しました。また、吉田豊彦監督は、「今年は新メンバーも多く、このチームでどう戦っていくのか、実践をまじえながら練習していきたい」と話しました。



練習に励む選手ら

このチームでどう戦っていくのか、実践をまじえながら練習していきたい」と話しました。



式典であいさつするサンフォキャプテン